



炎天下の中、作業に励む会員ら
＝喜入町の現場で

喜入町建設業同志会(南洋会)は3日、指宿郡喜入町で恒例の奉仕作業を実施。会員各社から14人が参加して、厳しき日差しが照りつける中、知覧・喜入線(喜入町役場・薩摩生工場下まで)の歩道部分の伐採・除草を行った。午前8時に(株)南興建設の駐車場に集合した会員らを前に、南興社長が「早朝から、苦勞作す。炎天下での厳しい作

喜入町建設業同志会

道路歩道部の伐採 除草

業が行われ、早朝から厳しい日差しが照りつける中、汗にまみれながら作業が進められ、終日かけた作業で、作業区間の歩道・傾斜部はきれいに清掃された。作業に参加した有村正司さんは「同志会の作業も恒例化してきました。今後同じ志のもとに、地域のために貢献していきたい」と語った。参加者は次の通り。

- (株)内園秋組 (株)豊倉建設
- (株)永尾建設 (株)南興建設
- (株)明生建設 (株)南組 三指工業(株)



除草や伐採などを行う社員ら
＝桜島の桜島自然恐竜公園で

(株)西浜組(浜元店)社長は3日、桜島の桜島自然恐竜公園内の伐採、除草及び桜島フェリー乗り場近くのレインボー桜島前の海岸などの清掃奉仕活動を実施。社員ら33人が心地よい汗を流した。今回の奉仕作業は、浜元社長がいつも散歩する公園内に雑草が生い茂り邪魔になっていることや、観光客に良い印象を持って、気持ちよく観光を楽しんでほしいとの思いから実施した。同日は、桜島自然恐竜公園内に午前8時に集合し、作業の注意や作業手順などの説明の後、浜元社長が「学校も夏休みになり公園を利用する人なども増える。日頃、地域の方々の協力と理解のおかげで作業がスムーズにできていることに感謝しながら、心を込めて作業を行ってほしい。また、けがのないよう作業を進めよう」と呼びかけ作業を開始した。このうち、公園内での作業は、遊歩道、芝生広場、さくらの広場、展望

台、休憩所管理棟、恐竜動物園(エタボサウルス、アロザウルス、ステゴサウルス、プラテオサウルスなど)、アスレチック遊具などの周辺での伐採及び除草などのボランティア清掃を実施。遊歩道に集めたごみをシュベルで収集しトラックで総持館まで運んだ。桜島の玄関口となる湾腰フェリー乗り場周辺では海岸線沿いの空き地拾いや、流木などの撤去などを行った。海岸線というできないものをユニーク車を使って、テキパキと作業を進め、乾ききった。どきれいになった。

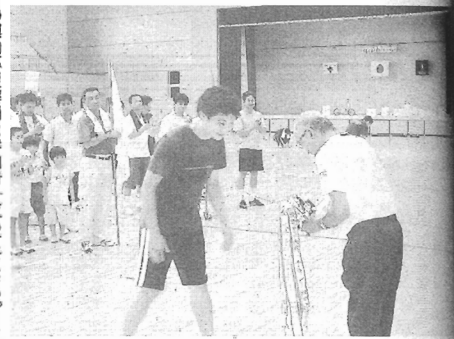
西浜組奉仕作業
桜島自然恐竜公園 伐採や除草など
公園内に午前8時に集合し、作業の注意や作業手順などの説明の後、浜元社長が「学校も夏休みになり公園を利用する人なども増える。日頃、地域の方々の協力と理解のおかげで作業がスムーズにできていることに感謝しながら、心を込めて作業を行ってほしい。また、けがのないよう作業を進めよう」と呼びかけ作業を開始した。このうち、公園内での作業は、遊歩道、芝生広場、さくらの広場、展望

県建築士会鹿屋・肝属支部(宇住庵徳司支部長)は4日、肝属郡串良町の串良平和アリーナで第10回ナイター大運動会を開き、会員、鹿屋建友会、県建築士事務所協会、関連企業など家族総出の320人が参加して、日頃の運動不足解消と参加者相互の親睦を深めた。

開会式では、三七寛実行委員長(南三宅建築設計事務所)が地区制りて編成された5チームの参加者を前に開会宣言。宇住庵徳司支部長が「日頃の運動不足解消と、今までのアルコールを汗で

抜いて下さい。くれぐれもけがなどには気を付けて」と挨拶した後、黒松潤二(赤組リーダー)(株)黒松製材建設が、選手宣誓、準備運動を体をほぐし競技に入った。種目は12種類用意され、玉入れ、2人3脚風船リレー、丸切り競争

県建築士会鹿屋・肝属支部 会員相互の親睦深める



320人が参加した大運動会
＝串良町の串良平和アリーナで



焼酎を酌み交わしながら談笑する会員
＝第16回櫻島丸船上で

県建築士会(川上道夫会長)の創立50周年を記念した第16回親善交流会「納涼の夕べ」は2日、第16回櫻島丸をチャーターして錦江湾上で開催。会員約600人参加して、職場や地域、世代を超えて語り合い、友好を深めた。4年ぶりに実施された納涼の夕べでは、初めに上山一吉事業委員長が「皆さんの会員が一堂に会することは意義深い。50年の思い出を語り合い、親睦を深めて頂きたい」と挨拶。相談役の君原清樹(株)住吉建設の発声で乾杯、ビールと焼酎を酌み交わしながら交流会へと移った。同日は記念事業として、歴代の会長、役員らベテランの会員も多数参加。「お互いに歳をとりたが、元気で何より」と「総会の時、ゆっくり語り合えなかつた」などと話していた。また、各支部、青年部、女性部会の有志も積極的に力加わった。

会場は大いに盛り上がり、お楽しみ抽選会では賞品が当たるたびに歓喜が沸き、子供たちも大騒ぎ。より一層親睦を深めた運動会となった。

世代を超えて親睦、交流
県建築士会(川上道夫会長)の創立50周年を記念した第16回親善交流会「納涼の夕べ」は2日、第16回櫻島丸をチャーターして錦江湾上で開催。会員約600人参加して、職場や地域、世代を超えて語り合い、友好を深めた。4年ぶりに実施された納涼の夕べでは、初めに上山一吉事業委員長が「皆さんの会員が一堂に会することは意義深い。50年の思い出を語り合い、親睦を深めて頂きたい」と挨拶。相談役の君原清樹(株)住吉建設の発声で乾杯、ビールと焼酎を酌み交わしながら交流会へと移った。同日は記念事業として、歴代の会長、役員らベテランの会員も多数参加。「お互いに歳をとりたが、元気で何より」と「総会の時、ゆっくり語り合えなかつた」などと話していた。また、各支部、青年部、女性部会の有志も積極的に力加わった。

田上建設ボランティア
高齢者宅のやぶ払い
田上建設(株)田上俊廣社長は3日、始良郡横川町内全地区の独居老人宅13カ所を、毎年恒例となつたボランティア活動を実施した。当日午前8時、参加者31人は同社駐車場集合し、準備体操で体をほぐした後、田上社長が「炎天下での日頃の業務推進に感謝したい。このボランティア活動を心待ちにして



手順良く作業を進める参加者
＝横川町の現場で

田上建設(株)田上俊廣社長は3日、始良郡横川町内全地区の独居老人宅13カ所を、毎年恒例となつたボランティア活動を実施した。当日午前8時、参加者31人は同社駐車場集合し、準備体操で体をほぐした後、田上社長が「炎天下での日頃の業務推進に感謝したい。このボランティア活動を心待ちにして

田上建設(株)田上俊廣社長は3日、始良郡横川町内全地区の独居老人宅13カ所を、毎年恒例となつたボランティア活動を実施した。当日午前8時、参加者31人は同社駐車場集合し、準備体操で体をほぐした後、田上社長が「炎天下での日頃の業務推進に感謝したい。このボランティア活動を心待ちにして

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
096-2275-100